

事業所名		ERIKSONエリクソン				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		3 月				日	
法人（事業所）理念		一般社団法人 発達共働会															
支援方針		エリック・エリクソンのライフ・サイクル心理学など、発達心理学他の学問的成果を、子どもの発達支援に活かし、一層人間的な発達支援を実現することを通して、子どもにもそのご家族にも、生きる手ごたえを実感していただける支援を行う															
営業時間		14 時		0 分から		17 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり		なし			
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・健康状態（検温・顔色・体調など）や心理状態（身振り・素振りなど）を注意深く観察し、変化に気付くようする ・生活リズムの安定、情緒の安定を支援する															
	運動・感覚	・タッチを大事にして、身体と体感を実感できるように支援する ・散歩や公園などでの遊びを通じて、身体感覚・バランス感覚などを養えるように支援する															
	認知・行動	・天気や利用者、予定や送迎の順序など、自分の見当識を意識するように支援する ・好きな遊びを通して、自分の情緒や行動を自己コントロールできる喜びを実感できるように支援する															
	言語コミュニケーション	・自分のやりたい遊びや食べたいメニューを言葉やあいさつなどを通じて、他者に伝えることにより、言語コミュニケーションができる喜びを伝えるように支援する ・マカトン法や絵カードなどを多様なメディアを用いて、コミュニケーションできる喜びを伝えるように支援する															
	人間関係社会性	・遊びを通して、自己信頼と他者信頼を育めるように支援する ・遊びを通して、準備や片付けも自分でする 自律の喜びを伝えるように支援する															
家族支援		・連絡ノートやモニタリングその他で、家庭からのご希望や困りごとに寄り添って、親子関係がよくなるように支援する ・母親面接を通して、心理的な支援を実施する							移行支援		・今のところ対象者がいないが、関係各機関と連携していく						
地域支援・地域連携		・近所とあいさつし、地域清掃に加わることで、関係改善と地域連携に努める							職員の質の向上		・定期的な研修とOJTなどを通して、研鑽に努める						
主な行事等		・誕生会などを通して、いまここで生かされている喜びを実感する ・買い物や避難訓練などで、いつもはしない体験も味わう															